

Newsletter

2001. 4.

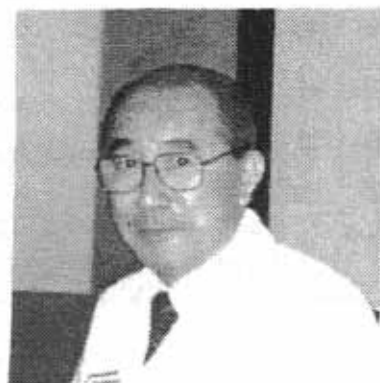
No. 1

『ジェックス・ニュース・レター』発刊に寄せて

ジェックス会長 高階 経和

1985年4月1日に当社団法人が発足されて以来、医師や看護婦、医療関係者をはじめ、市民の皆様方のご協力により、心臓病を中心に生活習慣病の診療や予防に関する教育研修及び啓蒙活動を行い、今日に至りました事を何よりも嬉しく思います。

当社団法人が発足以来、提唱して参りました国際医療研修センター構想は名誉会長の河合忠一先生をはじめ、多くの方々のご尽力により漸く2002年秋、横浜に完成する国際協力事業団(JICA)の横浜国際センター内に『アジア・ハート・ハウス』として事務局を設置し国際的活動を開始することになりました。これを受けて既に国際研修活動を行ってきた「ジェックス研修センター」を2001年4月1日より『アジア・ハート・ハウス・イン・オオサカ』と位置づけ、新たに活動を展開してまいります。



H : Humanity	H : Health
E : Effective	O : Organs
A : Advancement	U : Units
R : Resource	S : Spirit
T : Teaching	E : Education

「アジア・ハート・ハウス」設立の意義は、21世紀の医療が健康医学にあるという観点に立ち、わが国をはじめアジア近隣諸国の人材(resource)に対して、臨床医学的に有効な(effective)教育(teaching)を行い、医師、看護婦や医療関係者の人間性(humanity)を高めることによって、国際的医療の進歩(advancement)に寄与しようとするものであります。

「アジア・ハート・ハウス」研修活動の目的は、更に我々が心(spirit)身の健康(health)を維持する上で、心臓が脳、腎臓と共に体の三大重要臓器(organs)の一つであるという知識を把握し、生活習慣病に関する知見や、その予防に関する知識を個人毎(units)に学び、自らの教養を高め(education)、日常生活の質的向上に役立たせようとするものであります。

今回の『ジェックス・ニュース・レター』発刊に寄せて、皆様に「ハート・ハウス」の理念をご紹介し、今後のジェックスの活動が21世紀の医療に大きく貢献できることを念願する次第です。

お知らせ

4月 臨床心臓病研修会 11日(水)

降圧療法とアンジオテンシン受容体拮抗薬

—高血圧治療における位置づけ—

過去20年間における降圧薬の進歩にはめざましいものがあります。かつて日本人に多かった脳出血の頻度が近年著明に減少したのも、降圧療法の改善に負うところが大きいと考えられています。しかし、高血圧の治療のもっとも重要な点は、単に血圧を下げるだけでなく、脳、心臓、腎臓などの重要な臓器を保護するという点にあります。

もっとも新しい薬剤であるアンジオテンシン受容体拮抗薬は血圧、心不全、蛋白尿などに対し、アンジオテンシン変換酵素阻害薬とほぼ同程度に有効とされておりますが、咳のような副作用はなく、現在もっとも注目されている薬剤です。

今回は、アンジオテンシン変換酵素阻害薬とアンジオテンシン受容体拮抗薬との違いを含めて、この新しい薬剤の高血圧療法における位置づけについて解説したいと思います。

講師：西村 光先生(大阪医科大学 第三内科講師)

司会：中尾正俊(ジェックス副会長)

日時：平成13年4月11日(水) 午後2～4時

共催：ノバルティスファーマ(株)

(大阪府医師会会員の先生はチケットを受付に提出して下さい)

4月 心臓病講座 21日(土)

心臓病あれこれ

人類は21世紀を迎えましたが、循環器病、特に心臓疾患は今世紀も確実に増加するものと思われます。その背景として、食生活の欧米化や生活様式の変遷とともに糖尿病や高血圧、高脂血症など将来血管障害を生む疾病が増加することにあります。

医療財政がひっ迫する中、厚生省はこれらを“生活習慣病”と位置づけ国民にその予防の重要性を指摘しいわゆる“_____病”とは一線を画する方向にあります。従って心臓病で死なないためにも、私達はこれら生活習慣病の知識を身につけてはなりません。

“心臓でコロッと死ねたら楽でいい”という会話をよく耳にしますが、医療の進歩はめざましく、早期発見、適切な治療を受ければ、心臓死は避けられます。

今回の講演を通じて、心臓病で命を落とさないためにも、日常生活でどんなことに気をつければよいか、をわかりやすくお伝えできればと願っております。

講師：石原 正先生(大阪医科大学 第一内科助教授)

司会：高階経和(ジェックス会長)

日時：平成13年4月21日(土) 午後2～4時

共催：キッセイ薬品工業株式会社

場所：いずれもジェックス研修センター Tel: 06-6309-7535

大阪市淀川区西中島4-12-12 TAIHEIビル9階(地図は最終面にあります)

受講料：当ジェックス会員はいずれも無料

会員でない方は、臨床心臓病研修会 1000円、心臓病講座 500円

申し込みは不要です。直接会場にお越しください。

2001年度年間計画

臨床心臓病研修会 (水曜日・午後2時～4時)

4月11日	「降圧療法とアンジオテンシン受容体拮抗薬」	西村 光 (大阪医科大学第三内科講師)
5月 9日	「喘息の治療」	藤川晃成 (淀川キリスト教病院呼吸器内科部長)
6月13日	「心不全患者の日常管理と患者指導」	木野昌也 (ジェックス副会長・北摂総合病院院長)
9月12日	「生活習慣病としての肥満」	中村 正 (大阪大学大学院医学系研究科分子制御内科学)
10月10日	「うるおいのある血管をめざして —Vascular Stasionの意義—」	森下竜一 (大阪大学大学院医学系研究科遺伝子治療学・ 加齢医学助教授)
11月14日	「脳卒中慢性期の薬物療法」	成富博章 (国立循環器病センター脳内科)
1月 9日	「糖尿病へのアプローチ」	北岡治子 (大阪医科大学第一内科講師)
2月13日	「最近の不整脈の治療」	西本泰久 (三島救命救急センター)
3月13日	「高齢者の生活習慣病」	森本茂人 (大阪大学大学院医学研究系加齢医学講座助教授)

やさしい心臓病講座 (土曜日・午後2時～4時)

4月21日	「心臓病あれこれ」	石原 正 (大阪医科大学第一内科助教授)
5月19日	「骨粗鬆症治療の最近の知見」	橋本 淳 (大阪大学医学部整形外科講師)
6月16日	「循環器疾患とEDについて」	石蔵文信 (大阪大学医学部保健学科医用物理学講師)
9月22日	「高血圧の診断と治療」	森 泰清 (関西医科大学第二内科講師)
10月20日	「動脈硬化と虚血性心疾患」	星賀正明 (大阪医科大学第一内科助手)
11月17日	「ブレイン アタック時代の脳卒中診療」	松本昌泰 (大阪大学大学院医学系病態情報内科学助教授)
1月19日	「介護保険と痴呆について」	古林光一 (古林内科医院院長)
2月16日	「不整脈をどう診断するか」	鎌倉史郎 (国立循環器病センター心臓血管内科医長)
3月16日	「人はなぜ心筋梗塞になるか？」	河口明人 (国立循環器病センター研究所病部)

夏季大学 (日曜日・午前10時～午後4時)

7月22日	『21世紀のよりよい医療を目指して』	田辺 功 (朝日新聞編集委員) 清水とよ子 (千葉大学教授) 木野昌也 (ジェックス副会長) 他
-------	--------------------	--

一目で学ぶ心エコー図研修 (日曜日・午前9時～4時)

9月 2日	すっかり恒例となりました、医師、ナース、臨床検査技師の方々を対象とした「心エコー図」研修です。基礎知識から実際の症例を呈示しながらの、各疾患の診断のポイントについての講義や、実際のとりかたの実習は、毎回大変好評で、今回は、大阪医科大学第三内科諏訪道博先生のご指導をいただきます。	
-------	---	--

循環器専門ナース研修コース (第2・第4土曜日 午後2時～6時)

1月13日	総論、医学英語、解剖学	高階経和、中野次郎、河村慧四郎N
27日	薬理学、心不全、「イチロー」実習	中野次郎、野々木 宏、高階経和
2月10日	生理学、臨床心臓病学	木原康樹、太田 真、伊賀幹二、木戸友幸
24日	生理学、機能検査、高血圧	中村保幸、木野昌也、杉浦哲朗、天野利男
3月10日	心臓カテーテル、PTCA、心エコー	橋本哲男、宮崎俊一、諏訪道博
24日	CT、MRI、PET、心臓移植	小糸仁史、松田 暉、中尾正俊、木戸友幸、木野昌也
4月14日	薬理、「イチロー」実習、心電図	中野次郎、高階経和、池口 滋
28日	心電図、「イチロー」実習	中尾正俊、木野昌也、麻田邦夫、山内豊明
5月12日	急性心筋梗塞治療	岩坂壽二、伊賀幹二、木原康樹、関西医科大学
26日	ショック、心肺蘇生法	野々木 宏、河村剛史
6月 9日	心臓手術	岡田昌義、麻田邦夫、大阪医科大学
23日	まとめ、テスト	中野次郎、木野昌也、中尾正俊、木戸友幸、高階経和

その他

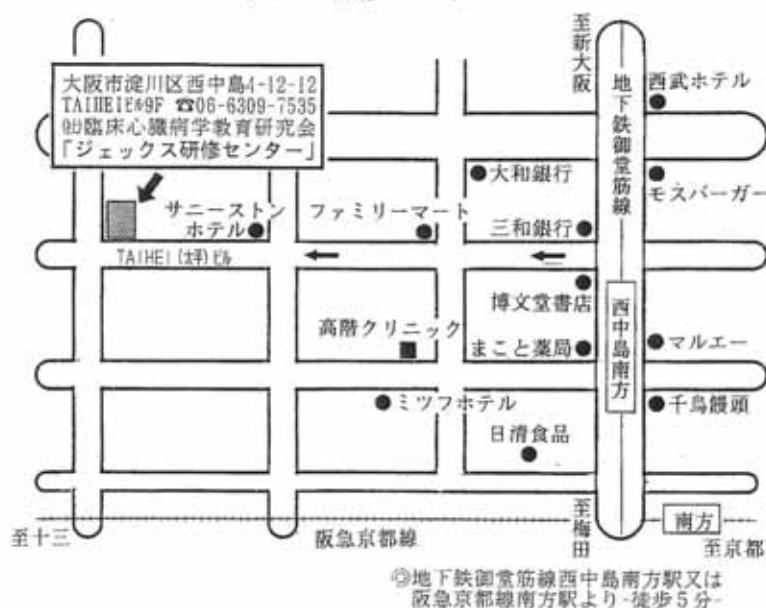
9月以降	大変好評の『心電図研修』や『心臓病患者シミュレータ「イチロー」』を使用し てのベッドサイドの診察法や聴診訓練など、今すぐに必要な循環器の知識や技 術修得のためのプログラムも計画していきます。	
------	---	--

◆役員会報告◆

平成13年2月15日(土)第127回役員会開催。

- (1) 平成11年度に就任した役員(会長、副会長、理事)の任期満了に伴って、平成13年度より向こう2年間の役員就任はほぼ全員が留任と決定。また天理よろづ相談所病院の伊賀幹二先生が来期から理事として就任の予定。
- (2) 本年度の夏期大学は『21世紀のより良い医療をめざして』で7月22日(日)に決定。
 1. 場所は昨年と同じ「中之島インテス」
 2. タイムスケジュール：午前のセッション「講演」 3時間
午後セッション「シンポジウム」 3時間
 3. 講師：朝日新聞東京本社 編集委員 田辺 功氏
千葉大学教授 清水 とよ子氏
シンポジウム「より良き医療者と患者の関係を築くための提言」
- (3) 循環器ナース研修コースは、本年1月より開催されているが、現在、参加者26名で真剣に参加している。
- (4) 「アジア・ハート・ハウス」の件
「ジェックス研修センター」は平成13年4月1日より、「アジア・ハート・ハウス・イン大阪」として位置づけ、独自の活動を開始することとなった。
- (5) ホームページ上の健康Q&Aコーナーを充実させるため、現役員及び評議員が参加して「症状編」を逐次掲載していく方向で決定。
- (6) その他
 1. 河村理事が主催される第23回日本健康増進学会へ後援依頼があり了承。
 2. 医師、医学生やナースを対象に定期的な「イチロー」集中研修を行うことが決定。

ージェックス研修センターー



ー編集後記ー

この4月1日よりの「アジア・ハート・ハウス・イン・大阪」設置を機に、JECCSからみなさんに最新の情報をタイムリーにお伝えするためにJECCS NEWSLETTERを隔月に発行することに致しました。JECCSの今後の様々な活動の紹介や役員会の報告などもあわせてお伝えしていく予定です。みなさんのお役に立てると思いますので、ご愛読をお願いします。

お問い合わせならびに入会の申し込みなどは、下記事務局までご連絡ください。

編集発行：(社)臨床心臓病教育学教育研究会「略称：ジェックス」

〒532-0011 大阪市淀川区西中島4丁目7-2 第1チサンマンション3F

Tel&Fax: 06-6304-8014(直通)

事務取扱時間：午前9時-午後5時

但、木・日・祝及び土曜日午後を除く

E-mail: jeccs@mbx.inet-osaka.or.jp

ホームページ <http://home.inet-osaka.or.jp/~jeccs/>